** 環境学習

環境園芸学科 2022.6月

6月16日(木)

ねぎの定植をしました。

春の植え付けはこれで終了です。

これからは、整枝、摘芯、芽搔きのほか、除草、 消毒などの管理作業を行い、収穫をはじめます。 暑くなってきました。休憩を十分摂り、水分を補給 して、野菜づくりを楽しみました。



電動スプレーによる消毒は、貴重な体験をさせてもらった。(学生)





ナスとかぼちゃの整枝の方法 を学び大変良かった。また、レ タス、ナス、ピーマンが収穫で きてうれしかった。いっぱい汗 かいて楽しかったです。

・ナスの整枝に苦戦。最後に、 「主枝はそのままでカットしな い」という言葉を聞いて、目か らうろこ状態。側枝のみ摘芯 することで納得。

・収穫を多くしたいと思ったら、 芽掻きなど日ごとの手入れが 大切だと強く思った。

·スイートコーンやナスなどの成 長を実際に見て、農業の素晴 らしさを感じた。

・去年参加された方から「ナス の剪定」がなかなか理解でき ず大変だったと聞きました。理 解できる迄チャレンジ!野菜 それぞれに違う育て方がある 事を勉強しました。伸ばすとこ ろ、 摘芯するかの判断が大切 と思います。これは、子育て、 人生観に共通しているのでは ないでしょうか。 (学生)













タカギ園芸社長さん



- ・社長のお話はおもしろく、植える 時も苗を持って離さず、しっかり転
- ・社長からラン育成の苦労話を聞 け、机上での知識よりためになっ た。ユニークな社長の話しぶりは 人生勉強にもなった。
- ・人間も植物も「水が一番大事」。 鉢植えに「空洞はダメ」、手の平と 指で固めることが一番。(学生)



いで愛しましょう。

ささゆり下山保存会 安藤一二三さん



ささゆりの保全活動の話を 聞いて、地元を盛り上げよう と頑張っている方々の取組 に頭が下がる思いがした。ゆ りの育て方は奥が深いと感じ (学生)

7月は夏野菜の収穫が本格 化します。そして収穫した野菜 を使ったエコ料理を学びます。 また、花の講座を開きます。





